

# 研究所だより

第307号  
2011年3月22日  
発行：土佐清水市教育研究所  
TEL 82-3015

2万1千人を超える死者、不明者を出した東北地方太平洋沖地震、津波の恐ろしさ、原発の恐怖を感じ取ったことでした。

このたびの震災で不幸にして犠牲となりました皆様方に心からご冥福を申し上げますと共に、被災者・被災地の皆様方が一日も早く復興なされることを心からお祈り申し上げます。

## < 1年間ご苦労様でした >

過ぎ去ってみれば1年というのは早いものです。この1年間の学校経営や学級経営、教科経営ご苦労様でした。様々な事柄があったことでしょう。次年度に繋がる成果や課題も明らかになったことだと思います。

異動で新天地に行かれる先生方、現任校に在籍される先生方、今後益々のご活躍をご期待申し上げます。

## < 平成23年度 市教研関係 >

### 1, 教研推進委員 (地区代表)

地区及び部署	担当校・部署	役職	地区及び部署	担当校・部署	役職
下ノ加江地区	下ノ加江小学校	委員	市教組	教文部長	副委員長
清水Ⅰ地区	幡陽小学校	委員	渭南教組	教文部長	委員長
清水Ⅱ地区	清水中学校	委員	校長会	校長会会長	副委員長
半島地区	足摺岬中学校	委員	教育委員会	指導主事	事務局
三崎地区	三崎小学校	委員	教育研究所	研究員	事務局
下川口地区	下川口小学校	委員			

### 2, 教研日程

組織教研	4月27日(水)	15:00~	全体会・各部会
一日教研	8月25日(木)	9:00~	全体会・各部会
半日教研	11月9日(水)	13:30~	各部会
総括教研	2月初旬までに		各部会

### 3, 部会構成について 部員人数5名以上を原則とします。

### 4, 第1回教研推進委員会

日時 4月18日(月) 15:00~  
場所 教育センター

内容 ①教研推進委員の確認  
②部会構成・部員の確認  
③組織教研の日程、運営について  
④一日教研全体会(講演)の内容について  
講師 野口芳宏先生

5, 平成23年度・部会希望調査(メールにて各学校送信)  
提出締め切り4月7日(木)



## < 土佐清水市の伝説6 (民話) >

### 【八与門坂(浦尻)】

清水浦と浦尻を結ぶ旧往還に八与門坂と呼ばれる峠がある。ここは大峠・小峠を経て窪津・津呂から浦尻に出た人々が清水へ通う道であり、浦尻側の谷を以布利谷といって、そこから以布利へ越す道を「だんご坂」といった。浦尻を下って大イカリ谷口から中ノ浜に越える道を「おがむね」といって現在のスカイライン入り口から右手の登り道である。

浦尻は半島の東側と以布利、清水への道が交叉する地点であった。なかでも八与門坂は、清水浦とを結ぶ要路であったのだが、いつの頃か飢餓の年、八与門と呼ばれる人が、首につるしたサイフに大金を入れたままこの坂で息絶えていた。

有り金全てを持って食料を買い求めるため家を出たのに、いずこも飢餓のため金を積んでも食べ物が手に入らなかったのだろう。それでも家で待つ家族のことを思って歩き回ったが、ついに手に入れることができず、帰る途中この坂で空腹のあまり力尽き、死んだと言われる。

それからこの坂を八与門坂といい、峠で休むと八与門がとりつくといっ、峠では腰を下ろさず越えたと伝えらる。

## < お世話になりました > - 北代 あかね

研究員としての時間をいただいたこの2年間は、これまでの教員生活では忘れがちなになっていた教師の仕事の素晴らしさを再確認できた貴重な時間でした。

市内の各小中学校の先生方の実践を見聞きさせていただいたり、先生方の課題と感じていることについての調査研究の協力をいただいたりしながら教育研究所の果たす役割について日々考えながら過ごしてまいりました。閃きや発想に耳を貸してくださる教育センターの所長をはじめ職員の方々や学校教育課の方々のお力添えのおかげで、少しずつ自分なりに大切だと思うことに取り組んでまいりました。けれども、先生方や支援員さんたちが教材の準備や資料探し、教育相談等で足を踏み入れやすい環境作りを目指したいと思いながらもまだまだ不十分のまま異動の時期を迎えてしまいました。

あすなる教室に通う生徒や遊びに来る卒業生たち、そして定時制に通う生徒たちからも教師として大切なことをたくさん感じ取らせてもらいました。清水小への異動となりましたが、子どもたちの心に寄り添い、小さな芽が伸びるのを応援できる教師でありたいと思っています。2年間ありがとうございました。